

予報期間 9月7日から9月13日まで

◆今期間のポイント

<主要しょう乱の概要>

- 台風第24号については最新の台風予報を参照。
- 9日から12日にかけて、中国東北区の高気圧が千島近海まで張り出す。太平洋高気圧が日本の南に張り出す。前線が東・西日本付近に停滞する。
- 13日は、太平洋高気圧の張り出しが弱まる。前線による雨の範囲は狭まるが、引き続き前線は東・西日本付近に停滞する。

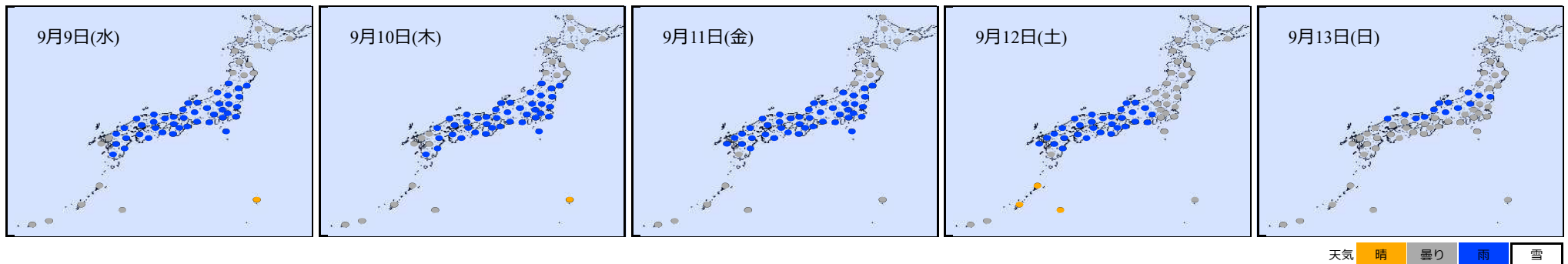
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 西日本では9日頃にかけて、東日本では10日頃にかけて、前線や暖かく湿った空気の影響で大雨となる所があり、前線の活動や暖かく湿った空気の流れ込みの程度等によっては警報級の大雨となるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

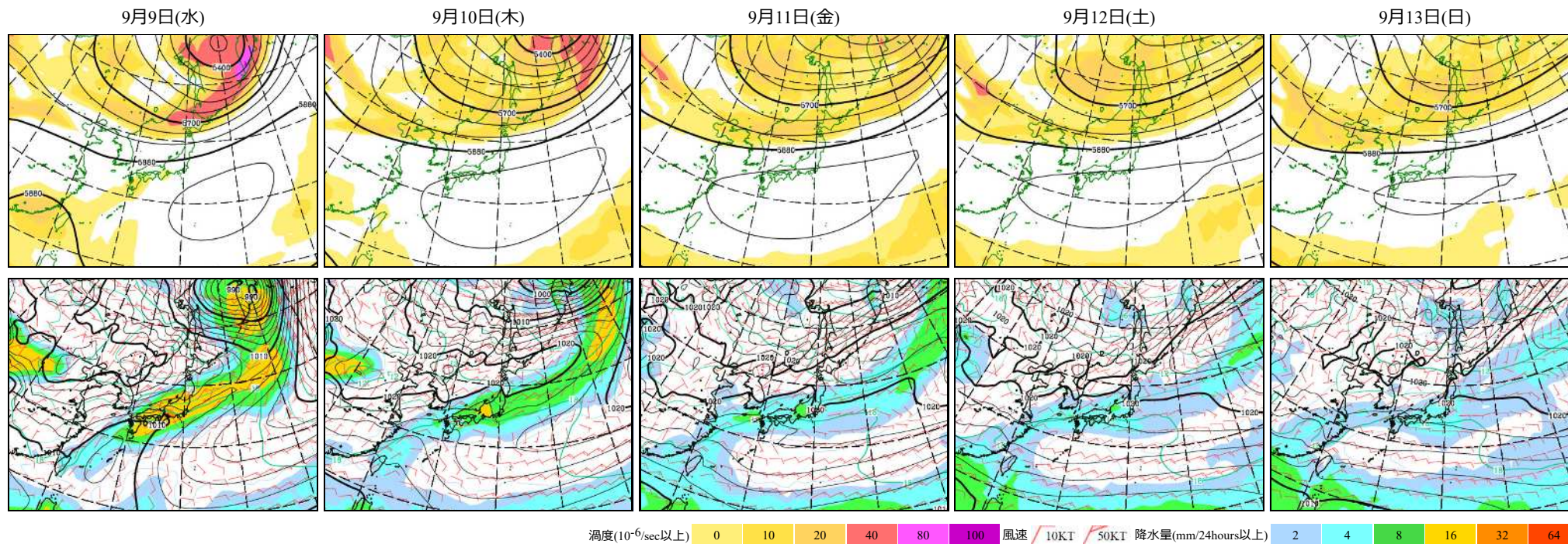
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

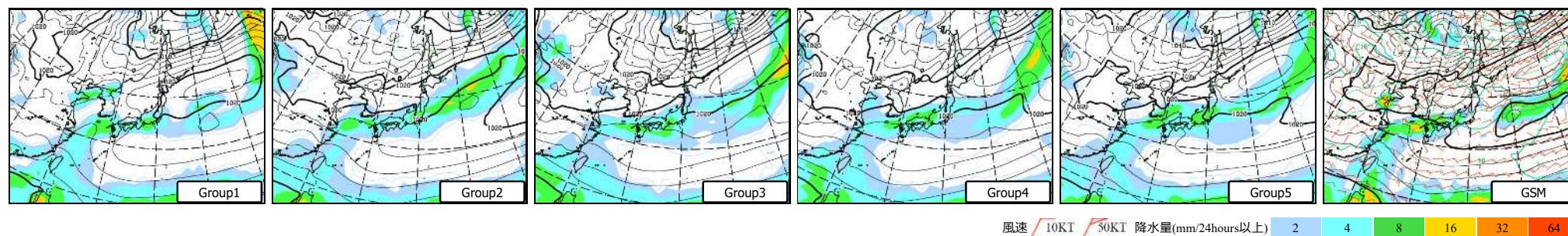


- 北海道地方は、晴れ間もあるが雲が広がりやすい。
- 東北地方と東日本、西日本は、曇りや雨の降る日が多い。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすいが、12日は晴れる所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆9月11日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、9日以降、太平洋高気圧の西への張り出しが強くなった。
- 海外モデルでは、9日以降に太平洋高気圧の西への張り出しを弱める予想を示すものもあり、太平洋高気圧の西への張り出しには、モデル間の差は大きい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。